

報道機関各位

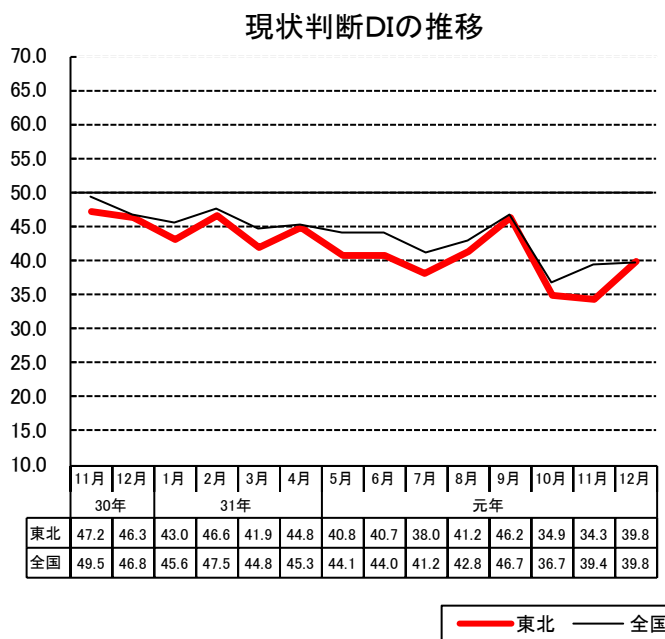
公益財団法人東北活性化研究センター  
 「内閣府 景気ウォッチャー調査 令和 元年 12月 東北分  
 (東北6県)」について

公益財団法人東北活性化研究センター（会長：佐竹 勤 株式会社ユアテック 取締役社長）は、このほど「内閣府 景気ウォッチャー調査 令和 元年 12月 東北分（東北6県）」について、とりまとめましたのでお知らせいたします。

1. 季節調整値

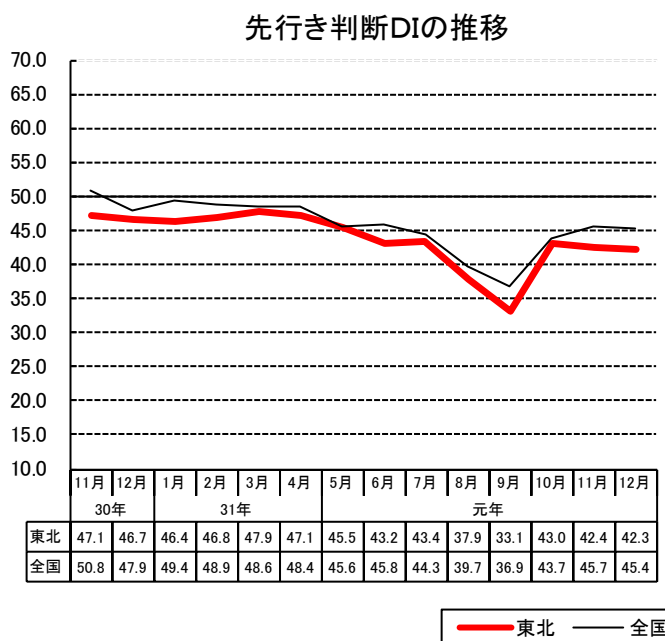
(1) 現状判断（3ヶ月前との比較、方向性 季節調整値）

現状判断DIは「39.8」と3ヶ月ぶりに前月を上回った。前月と比較し5.5ポイントと大幅に上回った。



(2) 先行き判断（2～3ヶ月先の見通し、方向性 季節調整値）

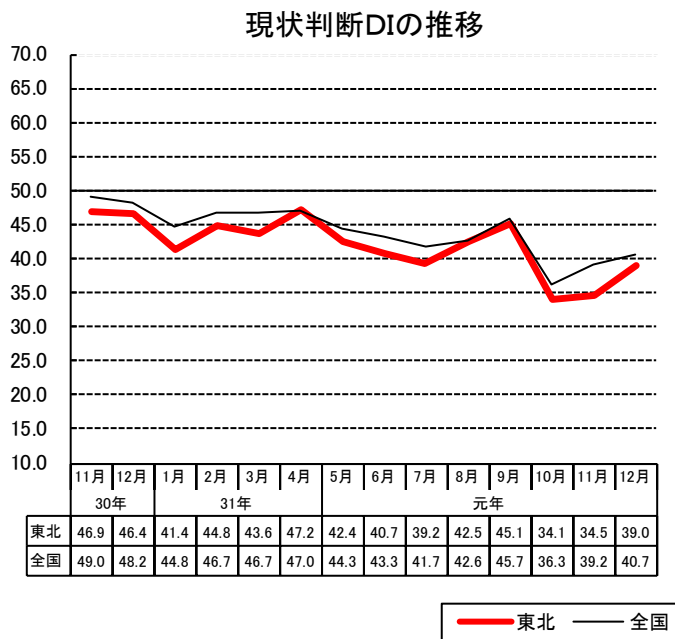
先行き判断DIは「42.3」と2ヶ月連続で前月を下回った。前月と比較し▲0.1ポイントとわずかに下回った。



## 2. 原数値

### (1) 現状判断 (3ヶ月前との比較、方向性)

現状判断DIは「39.0」と2ヶ月連続で前月を上回った。前月と比較し4.5ポイントと大幅に上回った。



○家計動向関連…住関連専門店、寝具販売店、家電量販店等の業種でDIが前月を下回ったが、コンビニ、観光型旅館、乗用車販売店等の業種でDIが前月を上回った。

DIは「38.9」(+4.5)と、2ヶ月連続で前月を上回った。

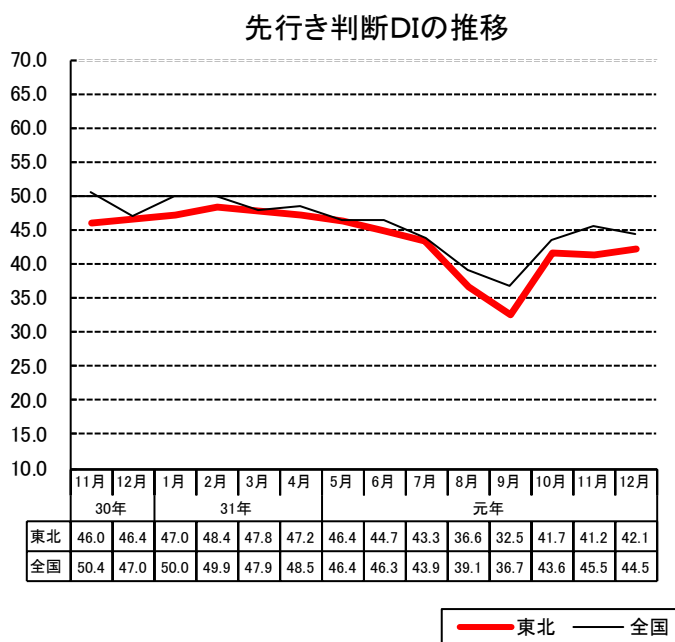
○企業動向関連…金融業、飲食料品卸売業、出版・印刷・同関連産業等の業種でDIが前月を下回ったが、建設業、電気機械器具製造業等の業種でDIが前月を上回った。

DIは「39.4」(+4.4)と、2ヶ月連続で前月を上回った。

○雇用関連…DIは「39.5」(+5.3)と、4ヶ月ぶりに前月を上回った。

### (2) 先行き判断 (2~3ヶ月先の見通し、方向性)

先行き判断DIは「42.1」と2ヶ月ぶりに前月を上回った。前月と比較し0.9ポイントとわずかに上回った。



○家計動向関連…白衣・ユニフォーム専門店、旅行代理店、スーパー等の業種でDIが前月を上回ったが、医薬品販売店、タクシー運転手、観光型旅館等の業種でDIが前月を下回った。

DIは「41.2」(▲0.3)と、3ヶ月ぶりに前月を下回った。

○企業動向関連…建設業、公認会計士等の業種でDIが前月を下回ったが、広告代理店、食料品製造業、窯業・土石製品製造業等の業種でDIが前月を上回った。

DIは「43.9」(+2.5)と、2ヶ月ぶりに前月を上回った。

○雇用関連…DIは「44.7」(+5.2)と、3ヶ月連続で前月を上回った。

## <参 考>

### ■D Iの推移（原数値）

#### （1）現状判断（方向性）D I

|          | 30年  |      | 31年  |      |      |      | 元年   |      |      |      |      |      |      |      |
|----------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
|          | 11月  | 12月  | 1月   | 2月   | 3月   | 4月   | 5月   | 6月   | 7月   | 8月   | 9月   | 10月  | 11月  | 12月  |
| 東北現状     | 46.9 | 46.4 | 41.4 | 44.8 | 43.6 | 47.2 | 42.4 | 40.7 | 39.2 | 42.5 | 45.1 | 34.1 | 34.5 | 39.0 |
| 家計動向関連   | 44.7 | 45.2 | 39.3 | 44.1 | 42.1 | 47.6 | 42.1 | 40.0 | 38.1 | 43.0 | 45.0 | 33.5 | 34.4 | 38.9 |
| 企業動向関連   | 50.0 | 46.6 | 42.9 | 42.1 | 43.1 | 46.5 | 41.4 | 41.9 | 40.7 | 39.6 | 46.4 | 33.6 | 35.0 | 39.4 |
| 雇用関連(参考) | 55.0 | 53.8 | 51.3 | 53.8 | 53.8 | 45.6 | 46.3 | 43.4 | 43.4 | 44.4 | 43.1 | 38.9 | 34.2 | 39.5 |

#### （2）先行き判断D I

|          | 30年  |      | 31年  |      |      |      | 元年   |      |      |      |      |      |      |      |
|----------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
|          | 11月  | 12月  | 1月   | 2月   | 3月   | 4月   | 5月   | 6月   | 7月   | 8月   | 9月   | 10月  | 11月  | 12月  |
| 東北先行き    | 46.0 | 46.4 | 47.0 | 48.4 | 47.8 | 47.2 | 46.4 | 44.7 | 43.3 | 36.6 | 32.5 | 41.7 | 41.2 | 42.1 |
| 家計動向関連   | 44.9 | 45.6 | 47.3 | 48.5 | 48.7 | 48.4 | 46.0 | 44.9 | 43.1 | 35.2 | 31.7 | 40.5 | 41.5 | 41.2 |
| 企業動向関連   | 48.6 | 45.3 | 43.6 | 44.1 | 45.8 | 43.8 | 47.1 | 42.6 | 43.6 | 37.5 | 33.6 | 47.1 | 41.4 | 43.9 |
| 雇用関連(参考) | 47.5 | 53.8 | 51.3 | 56.3 | 46.3 | 45.6 | 47.5 | 47.4 | 44.7 | 44.4 | 36.1 | 38.9 | 39.5 | 44.7 |

※D I（Diffusion Index）について…50 を基準とし、50 を超えると景気が良い方向にあることを示す。

### ■調査の概要

調査期間 令和 元年 12月 25日～31日

回答者数 171/189名、回答率 90.5%（全国 1,818/2,050名、88.7%）

以 上

#### <お問い合わせ先>

公益財団法人 東北活性化研究センター（担当：伊藤 好春）

〒980-0021 仙台市青葉区中央2-9-10

TEL：022-225-1426 FAX：022-225-0082

## <別 紙>

### ■特徴的と思われる判断理由（ウォッチャーのコメントから抜粋）

#### （1）現状判断理由

##### ○「やや良くなっている」

（コンビニ）…来客数が前年比で14%増加しているため、売上も増加している。特に土日は家族連れのお客が増加傾向にある。店の立地による認知度が増し、定着したとみている。

（ショッピングセンター）…天候に伴うマイナス要因はあるものの、クリスマス、ボーナスサンデーと順調に推移し、年末商戦にも期待がもてる状況である。

（美容室）…年末であり天候も良かったため、来客数が増えている。

（建設業）…公共工事を中心に一定の受注量を保って推移している。

##### ○「変わらない」

（スーパー）…12月の平均1品単価は前年を2%弱下回ったものの、買上点数は2%強増加しているなど、客は価格に敏感になっている。キャッシュレス・消費者還元事業は、社内の価格施策や販促と合わせて来客数増加につながっている。ただし、売上の推移をみる限り全体としての消費動向に変化はない様子である。

（衣料品専門店）…暖冬傾向のため、単価の高いアウターコートやニットなどの防寒着の需要が少なく、苦戦している。

（乗用車販売店）…10月以降から販売量は伸びておらず、今月も新規客の来場件数に変化はみられていない。

（一般レストラン）…近年の傾向としてレストランでクリスマスを楽しもうという雰囲気が薄れているため、23～24日も来客数は非常に少ない状況である。景気が悪いのか、内食が進んでいるのか、いずれにしてもレストランには厳しい環境となっている。

（観光型旅館）…予約申込みが伸びていない。自社のみならず地域全体的に良くない状況である。

（都市型ホテル）…大きなイベントもなく、消費税の引上げにより多少下向きに推移している。

（旅行代理店）…個人旅行の前年比が特に落ち込んでいるものの、3か月前と比較して傾向は変わっていない。

（観光名所）…来客数は増えているが、日本人客は減少しており、インバウンド客に支えられている。また、そのインバウンド客においても買物を控えている様子がうかがえるため、売上は余り伸びていない。

（リフォーム業）…次世代住宅ポイントとキャッシュレス還元の効果により、リフォーム工事並びに住宅設備器具の交換が増えている。

（電気機械器具製造業）…半導体製品の販売量が減少傾向にある。

（人材派遣会社）…今月は、ビルメンテナンス、清掃業、外食産業、アミューズメント業界から離職する人が増えている。全て別の業界に転職していることから、求人が多く活発に人が動いている印象を受ける。

（新聞社〔求人広告〕）…労働環境の改善に軸足が移っているのか、求人広告の出稿が減少している。

（職業安定所）…製造業の求人数の減少が目立っており、休業などの雇用調整を実施している事業所もみられている。ただし、有効求人倍率は依然として高水準で推移しており、企業の採用意欲は高く景気に大きな変動は見受けられない。

##### ○「やや悪くなっている」

（商店街）…物販店の来客数が少ない。消費税の引上げとインターネット通販の影響とみられる。

（寝具販売店）…年末商戦に向けて、若者向けにキャッシュレス決済の環境を整えたりもしたが、効果は今一つである。

（百貨店）…12月には消費税の引上げの影響が落ち着くとみていたが、老後の生活費問題や天候の影響など複合的な要因によって、生活防衛意識が続いている様子である。

(家電量販店) …消費税の引上げの影響がまだ残っている。また、暖冬気味のため暖房商材が前年よりも売れていない。テレビなどの映像商材は前年を上回っているものの、他の商品をカバーするには至らず、全体的な売上は前年比で5%減少となっている。

(酒類専門店) …12月前半はボーナスが出るまで動きが鈍かった。月後半も最後の伸びが期待できず、販売を広域展開することでようやく一定の成果となる見込みである。アルコール飲料については、消費税の引上げのダメージから抜けきるまでに時間が掛かるとみている。

(設計事務所) …設計や工事監理業務が減少している。

(食料品製造業) …来客数の減少よりも客単価の低下が売上に響いている。金額を下げたり送付先を減らしたりする客が多く、お歳暮商戦は前年を下回る形で終わっている。

(出版・印刷・同関連産業) …3か月前の売上は前年並みであったが、今月の売上は前年比で約10%落ち込んでいる。

(金融業) …個人消費が全般的にペースダウンしている。事業性設備投資も3か月連続で前年割れしており、主要港での水揚量の低迷も地元産業界に影響を与えている。

(広告業協会) …消費税の引上げによる消費減速で徐々に販促費にも影響が出始めている。様子見の企業も多く、広告業界全般でマイナス傾向にある。

### ○「悪くなっている」

(住関連専門店) …消費税の引上げ以降は個人の消費動向が節約志向に傾いており、少しずつ売上が落ちてきている。

(高級レストラン) …今年の夏以降ずっと低迷しており、同業者も同様に余り良くない状態である。景気が悪いのだろう。

(飲食料品卸売業) …地元の基幹産業は水産関係である。漁業に従事している人も多いが、東日本大震災から40%程度しか回復していない。このような状況で大変困っている。

## (2) 先行き判断理由

### ○「やや良くなる」

(白衣・ユニフォーム専門店) …年度末に向けて多少上向くと期待している。ただし、動きが遅く例年どおりに忙しくなるかは不透明である。消費税の引上げが影響していることは間違いない。

(旅行代理店) …台風被害への復興支援策により需要が喚起されるとみている。

(食料品製造業) …今後は東京オリンピックの下見などにより人の動きが出てくるとみている。

(広告代理店) …年度末に向けて仕事量が増える見込みであるが、価格や量については期待がもてない。

(人材派遣会社) …自社社員の時間外労働を削減するため、派遣社員を増員するという需要も増えてきている。年末需要も底堅く、今後2~3か月もやや良い状況は続くとみている。

### ○「変わらない」

(百貨店) …春先までは、消費税の引上げ後の消費回復を後押しするものがない。初売りなどは一時的に盛り上がると思うが、根本的には節約志向が継続していくとみている。

(スーパー) …東京オリンピックまでは地域のイベントなどが増え、外出する機会も多くなるとみている。そのため、外食、総菜、即食系商材の需要が増えるのではないかと期待している。ただし、可処分所得が伸びておらず、全体としての消費動向に大きな変化はないとみている。

(コンビニ) …来客数は増加傾向にあるものの、客の動きに大きな変化はみられていない。また、買上点数は1%の増加、買上単価は1.3%の増加と微増であるため、景気判断としても大きな変化はなく、今後も横ばいで推移するとみている。

(衣料品専門店) …今後も暖冬傾向は変わらず、寒くなったとしてもセール期の販売となるため、商売としては厳しくなるとみている。

(窯業・土石製品製造業) …東北地域は冬場になると出荷量が減少する。また、官需、民需共に大型物件がない。

(輸送業) …主要取引先である製造業の減産が、このまま3月まで続く予定である。その他の一般貨物も荷動きが上向いてこない。そのため、この先も悪い状態のまま変わらないとみている。

(職業安定所) …米中貿易摩擦や日韓問題、消費税の引上げの影響が懸念されるものの、全体的に人手不足の状況にあることから、今後も景気は変わらないとみている。

(労働局) …製造業が米中貿易摩擦による受注量減少に備える状況は変わらないとみている。

### ○「やや悪くなる」

(家電量販店) …消費税の引上げの影響は少なくなるとみているが、客の動きとして客単価が下がってきている。客の話からは将来に対する不安感が広がっている様子がうかがえる。

(観光型旅館) …先行予約が振るわず申込状況も鈍い。対策として限定プランの販売を開始しているが、どれだけ取り込めるかが問題である。

(タクシー運転手) …年5日の有給取得義務により、会社から新年度に入る前に消化するよう指導されることになる。仕事よりも家族が大切であるという考え方も増えてきており、マイカーを利用しての外出が増えるのではないかとみている。

(建設業) …企業全体の設備投資需要が減少傾向にあることが、同業他社との競争激化の要因の1つではないかとみている。

(公認会計士) …小売業及びサービス業の売上前年比、利益減少がなかなか止まらない。建設業、製造業関係は、現状と同水準の売上と利益を確保できる見込みであるが、全体的には若干景気が悪くなるとみている。

### ○「悪くなる」

(医薬品販売店) …今までは12月の状況で今後の3か月を予想することができたが、今年は非常に悪く、先行きが見通せない状況である。株価は安定しており、一部の人の景気は非常に良いものの、一般人は消費意欲を満たす財力に乏しいため、今後の景気は悪くなるとみている。

(飲食料品卸売業) …取引先の廃業が今まで以上に進んでいる。また、仕入先も中小規模の会社の廃業や倒産が散見されており、その穴埋めができていない。

東北地域に関する解説は、当センターの責任でまとめたものです。

以 上